

# 協働の まちづくり

## ニュース

Vol. 25  
2015.3月号



### 地域と市民活動フェスタ

2月15日(日)に開催された地域と市民活動フェスタ。今年は「一人一人の花を咲かせよう」をテーマに、市民活動は一人一人が主役であるということを表現するため、来場者や出展者が、ひまわりの花を模した髪飾りを付けて、集合写真を撮りました。(6ページに掲載)表紙写真は、この企画を提案された本フェスタ副実行委員長の河野知佳さん(右から2人目)と実行委員メンバーの皆さんです。



- P 2～4 **特集／新しい地域コミュニティ組織制度事業**  
○4地区の動き○合同視察研修
- P 5～6 **協働へのアプローチ**  
○市民まちづくり支援事業○地域と市民活動フェスタ
- P 7 **特集／日向市における区加入促進協定締結**
- P 8 **ひまわり塾(日向市ひまわり基金事業人財づくり事業)**

◆細島地区の取り組み

【節目を餅まきで祝う！】

1月11日(日)、成人式にあたり、協議会では細島地区で新成人と還暦を迎えられた双方の方々の人生の節目を、餅まきにてお祝いしました。

前日に、協議会メンバーと地区住民の皆さんが餅つきを行い、地区の子どもたちも参加し、賑やかに世代間交流を図ることができ、成人式当日は、式を終えて細島に戻ってきた新成人と還暦を迎えられた皆さんが仲良く「海の駅ほそしま」駐車場にて餅まきを盛大に行いました。餅まきには、地区内外の多くの方が訪れ、楽しい一日となりました。協議会では、今後も住民の皆さんの「絆」が深まる行事を続けていきます。



【認知症講座を開催】

1月15日(木)、細島公民館において「まちづくり講演会」を開催しました。講師に、協和病院の院長を務められている二宮嘉正先生を招き、「認知症の予防と対応について」というテーマで講演をいただきました。

講演では、二宮先生が実際に体験された話や認知症を予防するための具体的な話など、たいへん身近で参考になるものばかりでした。



▲講演いただいた二宮先生

当日は、約90名が講演を聴きましたが、聴講にいられた方からは、「認知症の予防の仕方を教えていただき、明日からでも実践できます」といった声や「認知症への正しい理解と対応が必要だと思えます」などといった意見がありました。

最近では、市内各地区でも認知症高齢者の徘徊模擬訓練などが実施されていますが、協議会では今後も講座等を通して、安心して住み続けることができるまちづくりを行ってまいります。

◆平岩地区の取り組み

【ふれあい朝市を開催】

12月23日(火)、第24回ふれあい朝市が南日向公民館で開催されました。

新鮮な野菜や魚のほか、年末の朝市ということもあり、正月飾りや花木も豊富に出てました。また、同会場で「農業体験学習」で作ったもち米を使い餅つきをしました。参加した児童をはじめ朝市のお客さんにもつきたての柔らかい餅を振る舞い楽しく交流できました。



(左) 餅つきと餅丸め (上) 朝市

【凧揚げ大会】

1月10日(土)、凧揚げ大会 IN 小倉ヶ浜が開催されました。

競技者40名、応援50名の皆さんが参加されました。今年の高さ2mを超える大凧4基があげられ、中には250



mの糸を全て出し切った凧もありました。来年はもっと多くの凧が小倉ヶ浜の空を泳ぐ姿を見たいものです。

【ふれあいグラウンドゴルフ大会】

1月25日(日)、素晴らしい青空の下、平岩農村公園において平岩ふれあいグラウンドゴルフ大会が開催されました。22チーム、130名を超える皆さんが参加。26名の方がホールインワンを記録し、その中のお二人は2回も記録。全てのホールを3打で回ったスコア48の方が80位、非常にレベルの高い大会でした。



◆塩見地区の取り組み

【塩見弁でラジオ体操第一のCDを作製】

塩見まちづくり協議会では、今年度、市からモデル事業の指定を受け、ラジオ体操普及に取り組みしていると



▲塩見弁ラジオ体操第一のCD

この事業において、住民のみならずの健康増進と、塩見への一層の愛着を進めるため、ラジオ体操第一を塩見弁で録音してCD化しました。

開会式において、笑いが出る塩見弁ラジオ体操第一で体をほぐした後、A・Bの2パートに分かれて競技を行いました。

雨の心配もされましたが、15チーム89名の元気さに、天気予報も外れ、参加者はグラウンド内を笑顔で動き回っていました。

【塩見ウォークを開催します】

3月8日(日)に「第5回塩見ウォーク」を開催します。

今回は、「塩見信仰の道と正法寺年中日誌の世界」と題し、奥野の亀の甲淵(抱瘡神社)や中村の正法寺などを巡る約3.5kmのコースを予定しています。



▲塩見ウォーク案内

【塩見地区交流 グラウンドゴルフ大会】

11月30日(日)に「第2回塩見地区交流グラウンドゴルフ大会」を開催しました。

◆東郷地区の取り組み

【正しい歩き方講座を開催】

1月29日(木)に東郷体育館で、「筋力を上げる！正しい歩き方講座」を開催しました。

毎年2月に各区で開催している「歩こう会」をより充実したものとするために開催しています。

当日は、約40名の方が参加し、美しく、健康に良い姿勢を意識しながら歩くことの大切さを学びました。歩こう会や日常のウォーキングに活かしていけそうです。



▲正しい歩き方講座の様子

【さつまいも収穫＆婚活イベント「東郷」】

11月22日(土)に牧水公園内の畑で、さつまいもの収穫を行いました。収穫したさつまいもは、道の駅とうごう詩季彩で販売しました。

翌日の11月23日(日)には、東郷



【公共花壇を市民協働で！】

11月11日(火)に、市と東郷まちづくり協議会との間で、「公共花壇アダプトプログラム」の調印式が行われました。

市から花の苗や肥料等の支給を受け、東郷まちづくり協議会は道の駅とうごう前交差点の花壇の管理を行います。近くをお通りの際は、是非ご覧ください。

## 日向市まちづくり支援事業 平成27年度上半期企画提案事業が、出そろいました！

市民の皆さんが知恵を出し合い、地域の特色を活かして自ら企画・運営されたまちづくり事業に対し、審査会を通して補助金が交付される「日向市市民まちづくり支援事業」。

2月2日から13日までの募集期間中に応募のあった事業を、ご紹介します！

No.	事業名	団体名	事業概要
1	第29回日向木挽唄全国大会	日向木挽唄全国大会実行委員会	日向木挽唄全国大会を2日間にわたり実施。日向木挽唄の伝承・保存及び普及に努める。また、全国から民謡愛好家が来場することにより、民謡愛好者との交流の場となり、日向市の観光宣伝・地域の活性化につなげる。
2	第126回細島みなと祭り	細島みなと祭り実行委員会	『みなと祭り』の文化・伝統の継承及び保存、細島地域の活性化、観光資源としてのアピール。東若・南若太鼓台、水族館、細島地どれアジすくい、魚のつかみどり、カラオケ大会、他地区小学生招待事業など。
3	さあ、広げよう 農業小学校	財光寺農業小学校	自然の仕組み、農業の役割等の食育の場として、休耕地を利用した農業体験活動。市内小学生を参加対象として、地域の方の協力を得ながら参加者自ら季節の野菜などを栽培し、食と農と命の関係を学ぶ。今年度は新たに、柑橘類の栽培体験も予定している。
4	平成27年度日向十五夜祭り	日向十五夜祭奉賛会	県北三大祭りの一つ日向十五夜祭りの伝統継承及び保存、郷土愛の醸成と高揚を図る。市内外の個人・団体による演芸披露、各区舞踊隊による十五夜踊り。花屋台、見立て細工等を展示する。今回はいくつかの新規事業も実施予定である。
5	第8回 日向お舟出九州少年親善ソフトボール大会	日向お舟出九州少年親善ソフトボール大会実行委員会	九州各県代表のスポーツ少年団とのソフトボール競技大会を通じて、少年団相互の親睦と友情を深め子どもたちの健全育成と、ソフトボールの街・日向市を県外に発信する。施設・会場等の素晴らしさをアピールし、日向市の観光PRにつなげる。
6	第6回 うめもんフェスタ	日向ぼっこ実行委員会	地元食材・地元料理を中心とした飲食店を出店することで、日向市の豊かな食材や食文化をPRする。また、イベント後1週間で「うめもんフェスタウィーク」とし、総合的なグルメフェスタとして開催する。また、高速道路佐伯・蒲江間開通を受け、大分県方面からの集客にも力を入れるため、バスツアーなども企画する。
7	～お笑い発祥の地・宮崎～第七回 ひむかの国こども落語全国大会	「こども落語全国大会」実行委員会	小学生～高校生を対象とした子ども落語の全国大会を2日間にわたり実施する。2日目にはプロの噺家の寄席を開き、プロの芸を披露する。また、大会前には市内の店舗や地域とタイアップし、ミニ落語会、落語体験教室を開催し、来場者アップに努める。人前で元気に話すことができる人材を育てる。
8	さあ、始めよう大王谷農業小学校	大王谷農業小学校	6年前に財光寺農業小学校が立ち上がり、市内の子どもたちに食と農の大切さを実際に農業体験を通して伝えている。それらの活動を参考に、また連携しながら、新たに大王谷農業小学校を立ち上げ、より多くの子どもたちに農業体験をしてもらう。
9	～人と人、人と社会、人と自然を優しくつなぐ～ 廃校を拠点とする「コミュニティハウス」新たなマンパワーによる東郷町創生事業	特定非営利活動法人 日向市手をつなぐ育成会	旧福瀬小学校の既存施設を活用し、コミュニティハウスの事業を行う。小学校の1階部分は、障がい者等の就労・生活支援事業を行うが、2階・3階部分ではコミュニティハウス事業を行い、誰でも利用でき、地域コミュニティが図れる施設として活用し、様々な事業を展開する。

これらの事業の“公開プレゼンテーション審査”が下記のとおり開催されますので、興味のある方は是非お越しください！

**日時：平成27年3月29日(日)午前10時30分～(予定)**

**会場：日向市役所 本庁2階 委員会室**

**お問い合わせ先：日向市地域コミュニティ課 市民協働係**

**TEL 52-2111(内線6251)**

### ◆合同視察研修に行ってきました！

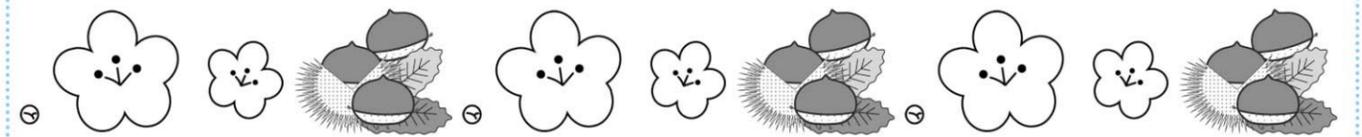
去る1月22日(木)・23日(金)の2日間、4地区のまちづくり協議会等のメンバーが大山町農業協同組合(大分県大山町)と筑後市役所(福岡県筑後市)へ、合同視察研修へ行きました。

大山町農業協同組合は、“梅栗植えてハワイへ行こう”のフレーズでお馴染みの、長年注目されている農協です。

大山町が今日のように成功している鍵は、矢幡治美氏(当時農協組合長、町長)という人物にありました。矢幡氏は昭和36年、当時非常に貧しい村であった大山町の大改革を実施しました。

農協が行政を引っ張り、米作に頼らない農業の推進、施設園芸、回転率の良い農業、むかで農業を推進しました。

特に印象的であったのは、農家の所得向上を基本理念とするぶれない軸を持ち続けていることです。組合員が皆同じ目標を持つことで、意思の統一、また、何のためにやるのかという共通した目的意識を明確に持てるので、トップが変わっても動じない組織づくりが出来るのだということを感じました。



また、筑後市では、校区コミュニティ協議会という、本市のまちづくり協議会と類似した制度についてお話を伺ってきました。



筑後市では、平成19年度以降、校区コミュニティ協議会制度について協議を重ね、平成22年度に3つの校区で協議会が誕生し、現在は全11校区(小学校区)中、9校区で協議会が誕生しています。

協議会誕生の方策としては、本市と同じく、あくまで地域からの手上げ方式ということで、小学1年生が通える範囲であれば、高齢者も歩いて集まれるという考え方により、協議会は小学校区単位で組織されていました。

筑後市からの支援の内容は、協議会の拠点整備や運営費に対してが主であり、事業への補助がないこと等、本市と異なる面も多々ありましたが、特に参加者の関心を集めていたのは、協議会が行うコミュニティバス事業でした。

このコミュニティバスは無料で利用でき、コミュニティ自動車貸与事業としているため、自由度が高く、運行ルートや時間、市外へ行くことも可能とされていました。運転手は地元の方にお願ひし、経費は市と校区で半額ずつ負担し、負担分のほとんどを寄付金でまかなっている校区もあり、行先である病院からも寄付がくるとのことでした。

今回の研修で、本市の各まちづくり協議会の皆さんも、他の協議会との交流も含め、刺激を受けたことで、今後の活動への更なる意欲や、大きなヒントを得たようです。

今後の活動に注目です！！



## 地域と市民活動フェスタ

去る2月15日(日)に日向市文化交流センターにおいて、「地域と市民活動フェスタ」(主催…地域と市民活動フェスタ実行委員会)が開催されました。

イベントは、9時45分より交流広場にて開会式が開かれ、オープニングセレモニーでは、琉星會(美郷町北郷地区)による宇納間エイサーが披露されるなど、盛大に開会されました。



▲宇納間エイサーの様子

▲会場の様子



今年のテーマは、「一人一人の花を咲かせよう」として、来場者の方々に、本市の市花である「ひまわり」の花を模した髪飾りをつけていただき、市民活動は一人一人が主役であるということを表現した集合写真の撮影を交流広場で実施しました。小さなお子さんから高齢者まで幅広い年代の方々にご協力いただきました。

この集合写真は、広報ひゅうが3月号の表紙にも使用されています。

大ホールでは、日向市内の市民活動団体が、日ごろの活動をまとめたパネルを展示したり、体験コ

ーナリで実演を行うなど、それぞれ活動を来場者の皆さんにPRしていました。

他にも、複数の団体による発表会も行なわれ、楽器演奏や研究発表などがありました。

また、知的障がい者の様々な表現を「個性」として捉え、プロデュースなどをされている「しょうぶ学園」(鹿児島市)の福森伸さんによるミニ講演会も開催され、来場者の皆さんは熱心に講話を聞いていました。



▲実行委員のみなさん



▲しょうぶ学園 福森伸さん



▲手作りおもちゃは、子どもから大人まで楽しめます

▼手づくり雑貨市の様子



その他にも、軽トラ市場やフードコート、手づくり雑貨市にお楽しみ抽選会など、例年に増して盛りだくさんの企画があり、多くの方に来場していただきました。このフェスタを通して、来場された市民の方が、少しでも市民活動について理解され、また興味を持っていただくきっかけになればと思います。

# 日向市における区加入に関する協定を締結

日向市では、「市民との協働」、「地域力の活用」の基本理念のもとで、「自助・共助・公助」のバランスのとれた地域づくりに取り組んでいます。

この地域づくりにおいて、区(自治会)は、防災、福祉、子育て支援、環境整備など、地域の様々な活動を担っており、地域活動の中核的な組織であることから、できるだけ多くの市民の皆さんへの加入促進を図っております。

しかしながら、核家族化、単身世帯の増加や近所付き合いなど行わなくとも便利に生活できるようになった社会情勢の変化などもありまして、区加入率は年々減少しているところがあります。

区(自治会)の様々な活動において、住民同士のコミュニケーションが広がり、「お互いの顔の見える関係」が築けると、普段の生活はもとより、いざという災害時の備えとして、安全・安心な生活をおくることができます。このようなことから、加入率が特に低い賃貸住宅などにお住いの方々を中心に区加入の理解・加入促進を得るため、宮崎県宅地建物取引業協会県北



▶右から宮崎県宅地建物取引業協会県北支店 大平武雄支店長・同協会県北支店日向地区 毛利久雄日向地区長/黒木健二日向市長/日向市 区長公民館長連合会 蝶野毅会長・同 甲斐康男副会長・同 沖田實美書記

支店日向地区のご協力をいただき、日向市区長公民館長連合会と本市との三者において、区加入促進に関する協定を2月9日(月)に、市長室において締結しました。この協定を結んだことにより、今まで以上に区(自治会)への加入促

進について、三者が相互に連携し、協力関係をより強固に築くことが出来るようになります。今後の取り組み内容については、次のとおりです。

【今後の取組内容】  
区長公民館長連合会  
構成員である単位区に対し、協定の目的等を周知し、その意義が正しく理解されるよう努めるとともに、積極的に区加入促進に取り組む。

宅地建物取引業協会  
構成員である会員に対し、本協定の目的等を周知し、物件の販売、管理、仲介等の新規契約又は継続契約時において、区への加入を積極的に行うよう促すとともに、区が行う加入促進の取組が円滑に行われるよう努める。

日向市  
市民に対し、区が行う地域活動に関する情報を適宜提供し、区への加入啓発に努める。

その他、区長公民館長連合会では、現在、区未加入者へのアンケート調査を実施しています。

このアンケートにより、未加入者の加入していない原因を分析し、今後の加入促進の材料としていきます。

また、宅地建物取引業協会の会員の理解を得るために、協会で年2〜3回開催されている研修会等に、連合会の役員が出席し、協力依頼を継続して実施していくこととしています。多くの皆さんが区に加入してこそ、区がより機能し、快適なまちづくりを行えます。

この協定締結により、三者が相互に連携及び協力し合い、区加入促進を進めていきます。

## 編集後記

▼3ページのまちづくり協議会の活動紹介の中にも記載しています。塩見弁のラジオ体操第一のCD化。新聞等でも紹介された効果が、延岡や日南等、市外からも多くお問い合わせいただいています。ほっこり笑える塩見弁で、笑いと健康の輪が市内外でどんどん広がることを期待しています。(な)



# 先進地で学びました！

日向市ひまわり基金事業推進協議会「市民活動団体リーダー養成事業」のジャンプコース受講生が、1月に視察研修を実施しました。今年度は2班に分かれ、「日向市の定住・移住対策」・「市民向けの情報発信の手法」というテーマで、受講生同士で意見交換を重ね先進地の視察研修地を選びました。

「日向市への定住・移住対策」については、千葉県館山市のNPO法人「おせっ会」の取り組みについて学習しました。移住対策によって、その地域にはなかった新たな業種が生まれたりするなど、人材の幅も広がっているそうです。また、移住者に空き家等を紹介する際は、大家さんが必ず同席できる機会を設け、移住者の方がどのような方かということを確認することが大切であるということなども学びました。

「市民向けの情報発信の手法」については、京都府京都市のNPO法人「子育ては親育て・みのりのもり劇場」の取り組みについて学び、ここでは、年4回「右京じかん」というフリーペーパーを編集・発行しており、右京区に住んでいる「人」にスポットを当てて取材をされていました。「人」にスポットを当てることで、その地域の文化や歴史もあわせて情報誌で紹介できるとのことでした。

日向市にもたくさんの「人財」がいらっしゃいます。このような方々の情報を市民の皆さんへお知らせすることで、まずは市内の情報発信力が高まり、そして市外への情報発信力も高まるのではということも学びました。



△「定住・移住」班の皆さん



△「情報発信」班の皆さん

## 日向市ひまわり基金事業推進協議会

# 平成27年度「ひまわり塾」受講生募集！！

日向市ひまわり基金事業推進協議会では、市内における公益的活動を担う人材の育成を目的に、「ひまわり塾」の受講生を募集します。

あなたもまちづくりについて学びませんか？

■実施期間 平成27年6月～平成29年3月（2ヶ年）

■応募資格 市内に在住または勤務している人、もしくは市内の市民活動団体に所属している人で、事業期間中に積極的に参加出来る方。

■募集人数 15名

■受講費用 無料

■受付期間 平成27年3月2日（月）～5月29日（金）（定員になり次第、受付を終了させていただきます）

### ■内 容

#### 【1年目】

- ①市内外において、各分野（地域づくり・福祉・観光・医療等）で市民活動を展開されている団体のリーダーによる講話
- ②市民活動の現場視察または先進地視察研修
- ③受講生同士による意見交換

#### 【2年目】

- ①1年目で学んだことの振り返り、ワークショップ
- ②年間テーマの決定・先進地視察研修
- ③研修報告等の実施

※平成26年度まで、「市民活動団体リーダー養成事業」という名称で実施していましたが、27年度から「ひまわり塾」へ名称を変更して実施いたします。

■申し込み先

日向市地域コミュニティ課 TEL52-2111（内線6251）

日向市 協働のまちづくり

検 索

発行／平成27年3月1日

日向市総合政策部 地域コミュニティ課 〒883-8555 日向市本町10番5号  
TEL 52-2111(内線6251) FAX 56-0018

協働のまちづくりニュース 3月号